

学位論文審査結果の要旨

博士課程 ①・乙	第 号	氏 名	与那覇 哲
審 査 委 員	主 査 氏 名	落合 秀 浩	
	副 査 氏 名	永延 清和	
	副 査 氏 名	丸山 浩 広	
<p>[論文題名] 敗血症における mature および total adrenomedullin の診断的および予後的な有用性：前向き観察研究</p> <p>[要 旨] 近年人口の高齢化に伴い敗血症患者数も増加傾向にある。そのため Survival Sepsis Campaign や日本集中治療医学会等により診断ならびに予後改善を目的として診療ガイドラインの策定等がなされている。そのような状況のなか、敗血症の早期診断や予後予測に関する新規バイオマーカーの開拓にはとても期待が高まっている。本研究では、敗血症の早期診断並びに予後予測におけるバイオマーカーの研究として、成熟型アドレノメデュリンと総体アドレノメデュリンに着目し、既存のバイオマーカーであるプロカルシトニンやプレセプシン、血中乳酸値と比較検討することにより成熟型アドレノメデュリンがバイオマーカーとして有用であることを証明しその cut-off value を提示している。さらに成熟型アドレノメデュリンは血中半減期が短いためこれまで直接測定することは困難であったが、著者らは自ら開発した方法を用いてこれを直接測定し、これまで検討されていた総体アドレノメデュリンとの相関関係を検討することにより、敗血症の早期診断並びに予後予測については、成熟型アドレノメデュリンを直接測定しなくても、総体アドレノメデュリン値を用いることで遜色ないことを報告している。</p> <p>本研究は、方法や結果の分析、そして結論に至る過程も適切であり、結果に対しても適切な考察がなされている。本論文は、敗血症の診断並びに治療において新たな知見を与えるものであり、博士論文に値すると思われる。</p>			

最終試験結果の要旨

博士課程 甲	第 号	氏 名	与那覇 哲
審 査 委 員		主 査 氏 名	落合 秀雄
		副 査 氏 名	永延 清和
		副 査 氏 名	丸山 浩一
[要 旨]			
学位論文の内容およびその関連領域に関する知識について口頭で試問を行った結果、医学博士の学位に値する論文であり、かつ相応の学力ならびに知識を有すると判定した。			